



# オーストラリアワーキングホリデー

- ◆無料えーじェンとのサイトについて
- ◆海外保険について
- ◆ホームステイのサイト集
- ◆ボランティアのサイト集

## ◆無料エージェントを使って渡航費用を30万円は安くできる方法◆

ここから渡航費用を限りなく削減していくためのことになります。

実際には「現地無料エージェント」と「ユニケア」の組み合わせが安いといえ安いのですが、旅慣れしない限りはめんどくさく感じるかもしれません。

実は国内有料エージェントと無料エージェントというものがあり

100% 自力渡航する人

100% 有料エージェントを使う人

50%や30%の最低限のサービスと現地の無料エージェントを使って経費を節約できる人

の3パターンに分かれます。

## ◆語学学校の費用の相場

ざっと換算して12週間×320ドル/週(語学学校の授業料)＋入学金 400ドル前後に付け加えてエージェントの利益を上乗せされるので100万近く出ます・・・

これを払って現地に行きますが生活はまた別に出さなければいけないというのは負担ですよね？そこまでお金を出しても構わないという人はいいいんです。別にどんなに親身な相談で安心したとしてもサービスの質はオーストラリアの現地のクオリティを超えることはないということをひとつ覚えておいてください。

## ◆基本のオプションがなければ授業料は週320ドルが相場◆

どこの学校も320ドル/週が相場の料金です。しかし年によっては英語の習うシチュエーションが違ったり、その環境に合わせて習い事も合わせて勉強できるなどのコースもあります。

例えばケアンズなら、英語＋スキューバダイビング、ネイルの留学のようなお稽古留学や何かしらの習い事があれば料金が高くなります。あくまでほんの一例です。

話は語学学校だけの料金に戻りますが、このように調べて相場を知り、ぼったくり料金のエージェントを見抜きましょうね！この学校の同じ期間の授業料でも日本のエージェントが提示する料金が違うなら、その差額がエージェントに落ちるお金という可能性が高いので気をつけましょう！

実際に日本のエージェントを使って渡航すると現地の支店やサポートスタッフが・・・というような言い方をしていますが、実際はそのようなことはなく、現地にある「無料エージェント」と言われるものに委託をしているだけで実際に日本の支店を持っているエージェントはほとんどありません

ここでまず選択肢が二つです

## 1 すべてを自力でやる

ビザの手配、航空券、銀行口座の開設、語学学校の手配、ホームステイの手配をすべてやってみよう。

これに関しては実は可能なわけです。特典の方に語学学校、ホームステイの集合サイトを掲載していますので参考にしてくださいね！

しかし、中には指定の留学エージェントからの紹介であれば割引が適用されるということもありますので一概に安いというわけではありません語学学校別に聞くという必要がありますが、まずオーストラリアの語学学校の授業料の相場自体が 320ドル/週と決まっているので

そして日本人かなりいいターゲットにされているせいか受付には日本語が話せる人がいる学校があります。私が実際に行ったケアンズの「カプラン」という系列の学校は日本語が話せるレセプションистがいてがっかりしました・・・(せっかく海外来ているんだから英語を使いたかったんですよ)

## 2 部分的に現地の無料エージェントと呼ばれる場所に任せる

実は現地に無料エージェントと呼ばれるものがあります！これは結構知っている人は知っていますがわからない人は分らずに、知らずに大金を日本のエージェントに払って渡航してしまいます・・・僕自身も知っておけばよかったな、なんていう後悔が多々あります。知っておけば

現地無料エージェントというのは直接渡航者からお金をもらうではなく、何かしらのサービス申込みがそのエージェントを通して決まった時にキックバック(紹介料)が入る仕組みです。

例えば語学学校に入学したとしたら、その下見に無料エージェントの人は付き合ってくれます。この時点でお金は発生せずに、後日その渡航者が語学学校に入学をすると、その渡航者を紹介したエージェントは紹介料を学校からもらえるという仕組み

そのエージェントがその渡航者を紹介してくれたから、その語学学校が生徒を獲得できた、ということで紹介料が語学学校から払われるんですね

だから無料(0円)といっているわけです

でも事前に振込が必要な場合もあるから各エージェントによって料金が異なる(空港送迎とか)は要確認が必要

サービスの形骸が異なるので調べてたりすることが重要になる

よく「0円で・・・」という文句があると思うんですよ(検索キーワードの入れ方を知らない人は知らない

かもしれませんね)

現地 無料 エージェント という検索キーワードを入れてくださいね！

もちろん特典の方に現地無料エージェントが集まったサイトとおすすめのエージェントの URL も  
しっかり記載しておきますね！

#### ◆現地の無料エージェントと日本国内の有料エージェントのサービスの違い

基本的に無料説明会で聞いた限り、パンフレットを見た限りの国内有料エージェントのサービスと  
いうのは

- 航空券手配語学学校手配
- ホームステイ手配ビザの取得代行各種留学の手配
- インターンシップは単純に大学院とセット各種スポーツ留学や習い事ボランティアプログラム(ファームステイはたいていウーフブックがあれば行ける場所)
- 企業インターンシップ
- 携帯電話の貸出
- 有給インターンは実は現地に 1500～1800ドルでやっている場所があります
- 地の銀行口座の開設税金申告番号(オーストラリアは TFN)取得
- 空港送迎(到着した空港によっては別途料金発生)
- 現地の支店サポート(履歴書をコピー出来るだけ)

上記に付け加えてこれらのサービスは到着した最初の都市の支店でしか受けられないために、実は  
その場所を離れると全く使ええなくなるので、僕個人的には 100 万体を払って使うべき質のサービ  
スとは思えません。

それに対して現地の無料エージェントというのは

スタンダードなところは

- 学校選びの相談ネイティブとのシェアハウスに住みたい人のために一緒に探してくれる

- TFN(タックスファイルナンバー)の取得を手伝ってくれる
- 学費見積もり入学手続き(これが無料だから安い！)
- 渡航前にスカイプなどで連絡をして渡航後のイメージを膨らますことができる
- 荷物の一時預かり(場所による)
- 現地での生活相談現地の携帯電話の契約を助けてくれる
- 現地の銀行口座開設手続き仕事に必要な税金申告番号の取得(ワーホリの場合)
- 有給インターン手配
- 仕事の紹介 300 から 400 ドルくらいから(当たり外れは大きいです)
- 大学院やその他 TAFE や何かしらの専門学校に入学する際の手続き空港送迎もちろん履歴書とインターネットは使い放題でこのエージェントは誰でも利用可

だいたいこんな感じでそれほどサービスは変わらないということです、ファーストビザの取得代行を除いては。あとは空港からの送迎の料金が若干違う程度でしょうか？これなら現地の無料のエージェントの方が絶対に安いですよ。

でも場所によっては本当にバラエティがあって一概に言えません。僕が調べた中の共通項をあげました。そのほか困ったことがあれば聞けば何かしらの情報はくれます。

パースにある小さなダイビングスクールとオフィスシェアをしている場所 Perth Working Holiday & Tour は語学学校の紹介や物件を所有していたのでシェアハウスの斡旋もしてくれまし、9 月くらいであればいちごのピッキングの仕事も紹介してくれます。(行かないほうがいい！)

無料エージェントというのは現地に精通している人たちが運営しているのでトラブルは少ないです。むしろなんでトラブルが多くなるのか？というのは国内の有料エージェントのカウンセラーが悪いと思います。

要は伝え方ですね。だいたい留学を 2, 3 ヶ月した程度の人やワーホリビザで語学学校に行ってあとは観光して帰っただけなど、結構浅い人たちが水増しさせて物事を話すことが多いので渡航者が「言ってることと違うだろ！！」ということになるんです・・・

実際に私が使ったところは「現地スタッフが 24 時間あなたをサポートします」というような文言がありましたがそんなことはなかったです(笑)

はっきり言ってオーストラリアに関してはそこらへんのカウンセラーなんかよりも詳しく言えますよ？私は。これだけは胸を張って言えますし、実際にこのマニュアルに書かれていることは 20 年永住

していたとしてもその人が知らないことがいっぱいあります

### ◆無料エージェントの料金◆

実は探してもないのが本音ではないでしょうか？

なぜなら紹介量料だけもらっているという形態なのでほとんどの項目が「無料」と記載されているのが事実です。実際には明示されないのが現状です

例えば語学学校に申し込んだとすれば、その語学学校に通うのに必要な料金だけ提示されるのでその料金からそのエージェントに紹介料が語学学校から支払われるので料金自体は「0 円」をうたったままなんですね。

だいたい提示されるといえば空港送迎がおおよそ 80AUS ドル〜が相場です。無料エージェントの料金表は基本的に無料のままです

### ◆まず 30 万円安く渡航する方法のまとめ◆

日本のエージェントを使わない

現地の無料エージェントを使うこと

自分に必要なサービスを自分で見極めてそれだけをサポートしてもらうこと

以上の 3 つのポイントが必要になってきます。そしてさらに渡航費用を節約する方法があります

### ◆オーストラリアへの渡航費用を左右する海外旅行保険について◆

#### ・海外旅行保険 AIU と ユニケア・

今は色々プラン、会社がいろいろありますが、無料のエージェントを使うとなるとぐっと保険の選択肢も広がります！

クレカの簡易保険や損保ジャパン、三井住友海上のネット申込のものなどがありますね？

幅広く選ぶなら「保険ドットコム」⇒<http://hoken.kakaku.com/insurance/ryugaku/roomshare/>が  
いいです。期間と価格をざっと知ることができるのでいい参考になります。

その中でも僕はAIUを使っていました。しかも、日本のエーエージェントというのはほぼAIUのシェアが広まっており、ほとんどがAIUを通していかないといけません。

僕が実際に渡航する前、説明会に行ったところもそうですし、実際に使ったところも、1年間で148000円のプランに入られました。

これさえなければなあ・・・もっと滞在が楽になったのになという思うことは多々ありますが精神的な安心を買うのが保険だからしかたない。

でも

私が使おうとして使えなかった「ユニケア」という滞在費を抑えることが可能になる保険も現地で見つけていました！

私が魅力を感じたAIUとユニケアのメリットとデメリットについて書きます！

### ・みんなご存知 AIU！でも落とし穴・

基本的にシェアを日本国内に、しかも留学、旅行エーエージェントに持っているので強制的に加入させられます。あんまりほかの情報を入れさせないという情報戦略にまんまと僕もはまりましたね。

しかし

大手なら大手なりのメリットがあるのも事実なのも確かなんですが・・・。

### ・何がメリットか？・

個人的に一番でかいのがキャッシュレスの治療費負担。

実は日本の健康保険証も使えますが、一旦全額支払って帰国後の申請ですし、一年日本から離れると生活の基盤が日本にないということで使えなくなるのでセカンドビザ野での滞在ができなくなります。しかも経済的なダメージもでかい・・・

その点AIUは現地の提携先病院であれば無料で診察ができて薬までもらえますから楽です。その上キャッシュレス(医療費をAIUが負担するからその時は払わなくていい)のも助かります。

### ・実はAIUが提携している病院がない場所があるオーストラリア・

オーストラリアでは実は全部の都市では使えなかったです。提携先の病院がある場所とそうでない場所があるから気を付けないとだめ。ですし、よく小さな冊子を見てちゃんと理解していないと実は結構痛い目にあうこともしばしばありますよ。

基本的にどこでも使えるようなニュアンスではありますが、オーストラリアにおいてはアリススプリング、ダーウィンを除いた場所でなら使用が可能です。

要はダーウィンで何等かのアクシデントがあった場合は至急で一番近い提携先の病院に行かねばならないということです。

例えば、NH(ノーサンテリトリー)や WA(ウェストオーストラリア)で、フルーピッキングのメッカであるカナーボン、カナナラなどにいる場合は提携の病院がなくて強制的にパースか最寄りの病院に行くように AIU の指示があります。ここが気をつけなくてはいけないところでしょう。

↓ 提携先の病院が書かれた PDF

[http://www.aiu.co.jp/travel/network/hospital/ocean.html#hos\\_tab](http://www.aiu.co.jp/travel/network/hospital/ocean.html#hos_tab)

アジアオセアニアのところ参照にしてください。

#### ・オーストラリアでは事前の予防策が功を奏する・

肌が弱い人は特に気をつけることが大切です。特に私も湿疹に悩んでいました。

強い紫外線 からくる肌の荒れは本当に悩まされました・・・日本の 7 倍の紫外線が降り注ぐオーストラリアなので肌が弱い方は本当に気をつけてください。

ワーキングホリデーにおいてはそれなりに自分で病気を防ぐことも必要になってきます。現地の薬などを用いて極力病院に行かないようにすることも必要です。

肌あれに関しては下記の薬が有名なので頭の片隅に置いておきましょう。のちのち、現地の生活編でも紹介しますが、役立つ現地で購入できるものを紹介します。





現地ではカラマインクリームという紫色の小瓶で売っています。5.6ドルくらいで高くなく、肌荒れ防止に役立ちますよ。

保険に依存するよりも保険に頼らないほうがいいですし、そっちのほうが絶対にです。

その都度保険が提携している都市病院までの移動をしなければいけないのでお金と時間の節約になるし、仕事をやめないといけなくなる羽目になるのを防ぐためです。

ちなみにリップスティックは必須です、特にアリスプリングや乾燥するところにいくと唇がこれでもかという位切れます・・・



なのでもしリップクリームがないなら上の写真のモノを買ってくださいね

## ■ユニケア～役立つ海外旅行保険■

これはニュージーランドの保険でオーストラリアとニュージーランドで使える旅行保険という僕からしたらすごくユニークな保険！当時一回で多額の金を払う日本の保険と違って外国らしく、期間で使いたいだけ使う＝買うことができ、この保険の期間を買った日からではなく使いたい日から使うという日にちの指定もできるということで便利でした。

(しかしながら管理人が申請した結果、KCSという砂漠の真ん中で働いていたために本人確認書類が手元にないということで使えませんでした)

ユニケア 保険料計算ページ <http://ryugaku-hoken.net/fees.html>

特にユニークなのは誤認逮捕とかハイジャックの保証も入っているというのがユニークなところですよ。

3ヶ月から使用ができ、(それよりも短いと少し割高)渡航に行く際に保険を聞かせたい国も選べるのですがその際はトラベルアップグレードと言おうものを使う必要があります

トラベルアップグレードとは⇒<http://ryugaku-hoken.net/fees.html#travelupgrade>

ただ融通のよさは AIU になると僕は見ます。保険の対象国をあらかじめ限定しなくてはならず、ワーホリ終了時に行きたい国があったならその都度アップグレードが必要ですし、お金も出ますからね。

### メリットデメリットの総括

- 1 一回の支払いで多くの国をカバーできるのは AIU です。ワーホリに行って期間一年未満で終了し、海外を少し回って日本に帰るといような人であれば AIU のプランから選んだほうがいいと思います。
- 2 オーストラリア、もしくは NZ にのみワーホリの期間はとどまり、あとはその時その時で決めるという人、あんまり世界をあちこち旅することに興味がないという人はユニケア向きでしょうね。期間も選べるので、その分経費の節約になります。

### ◆ホームステイについて◆

Welcome to the Australian Homestay Network



実はホームステイは自力で探すことが可能です  
<http://www.homestaynetwork.org/>

これは英語サイトですが「エージェント」という項目あるので実際に日本の留学エージェントから委

託されたところもつかっています・・・これは自力でやるといくら節約できるのかわかりません。それくらいやる価値はあります。



<http://www.homestayweb.com/search.cgi?la=ja&F13=AU&F21f=0&F21t=999999&F14=Sydney>

日本語でももちろん探せますよ！上記のサイトは日本語で書いてありますし、レビューもそこそこあります。

なれないうちはここを使ってみてもいいでしょう。